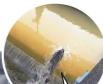


# 河口堰の魚道ってなあに?

## 魚道は生き物が行き来する川の道です。

階段式魚道や多自然魚道には、海の水と川の水の混じったところ【汽水域】で暮らす魚などの生き物がみられます。

魚は、魚道を使って海と川を自由に行き来しています。



階段式魚道は、水路が深く大きな魚が段差を使って上りやすくなっています。



魚道は、遠賀川河口域の出入口であり、魚が上れる限られたルートです。

## 多自然魚道ってどんなところ?

多自然魚道は、「**生き物と人をつなぐ ゆるやかな水辺空間の再生**」をコンセプトに、平成20年より住民の方々と意見を交わしながら設計をはじめ、平成25年に完成しました。

自然の小川のように砂や石でできており、泳ぐ力が弱い小さな魚や川底を移動する生き物が生活したり、隠れたりすることができるようになっています。



2014

整備後



2008

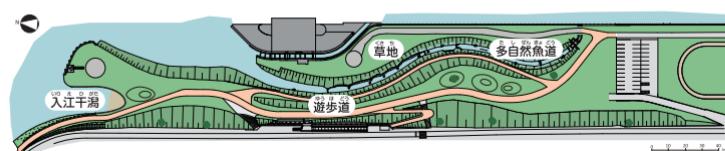
整備前



周辺は芦屋町の遠賀川魚道公園となりました。

遠賀川魚道公園は、コンクリートで覆われていた空間が、水辺を設け土と草の空間に再生したことと、魚やカニ、バッタやトンボなど様々な生物のすみやすい環境となりました。

あわせて、利用者に使いやすい工夫を取り入れ、人々が憩える空間となっています。



### TOPICS

#### 遠賀川はサケ遡上の南限の川です

遠賀川では、古くからサケを「神の使い」と信じ、サケが上ってくると豊作になると信じられていて、遠賀川上流の嘉麻市にある「鮭神社」では、毎年「献鮭祭」という神事(12月13日)が行われています。



河口堰の魚道周辺でも、サケの遡上が確認されています。

遠賀川では、地域の方々が「遠賀川にサケを呼び戻そう」という気持ちから、サケの稚魚を育てて子供たちと一緒に放流したり、川をきれいにする取り組みが盛んに行われています。



サケの稚魚



稚魚の放流



川の清掃活動

